

令和2年度高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成等事業入門講座 支え合いを広げる地域づくりフォーラム 実施報告（HP版）

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続するため、高齢社会の現状や高齢者の生きがいづくりや生活支援活動の必要性、地域住民が主体となる様々な生活支援活動の先進事例等を学びました！今年度はコロナ禍のためオンラインも併用して開催。

基調講演「住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らすために」では、三政貴秀氏（秋田県小坂町役場総務課）より、山形県の高齢化の現状を踏まえ、人生100年時代に向けて、介護予防としての社会参加の重要性や効果、各地で行われている支え合いの活動や仕組みについてお話いただきました。

パネルディスカッション「身近な地域で自分らしくいきいきと暮らし続けるために」では、三政貴秀氏のコーディネートで、パネリストの飯島恵子氏（ゆいの里代表・在宅ケアネットワーク栃木事務局長）と荒川陽子氏（NPO法人地域生活支援オレンジネット理事長）より、お二人の活動事例を踏まえ、誰もが役割や生きがいを持って暮らすことのできる地域共生社会に向けての様々なヒントやアドバイスをいただきました。



基調講演（村山会場）



パネルディスカッション（庄内会場）

【村山会場】

日時：11月7日（土）13時～16時半
会場：遊学館（山形市内）・オンライン Zoom
参加：76名（オンライン参加29名）

【庄内会場】

日時：11月8日（日）13時～16時半
会場：庄内町余目第4公民館（庄内町内）
参加：48名

***** 参加者VOICE *****

- ・高齢社会の現状と今後について再認識しどう動くかを考えました。
- ・自分達のサロンでも取り入れたいと思うことが多くありました。
- ・まず仲間を見つける、仲間をつくることからはじめたいと思いました。
- ・地域住民を納得させる言葉・フレーズがたくさんあって是非参考にしたい。
- ・様々な取り組みを教えていただき、もう少し踏み込んで活動したいと思いました。
- ・社会参加の重要性について具体的なデータをもとによく理解することができました。
- ・山形の現状と老後の期間の長期化で、どう過ごすか、健康のため何をすべきか、参考になった。
- ・自分も体操教室、趣味、ボランティアをこれからも続けたいと思いました。一人暮らしなので認知予防を頑張ろうと思います。
- ・将来の安心できる暮らしのために自分事として活動していきたいと改めて思いました。

※この事業は県の委託を受け実施しました。